

国民の世論と運動で、「社会保障・税一体改革」をやめさせ、社会保障拡充への転換を！

# ほっかいどうの社会保障

2013年8月15日 北海道社会保障推進協議会 Tel:011-758-2648 FAX:758-4666

## 国に対して 介護制度の改悪ではなく改善を 「要支援」保険はずし・利用料値上げ問題で 道と懇談



8月8日、介護に笑顔を！道連絡会と北海道社保協は、北海道と懇談し、国に介護制度の改悪はやめて改善することを要望するように働きかけました。

主に5日、社会保障制度改革国民会議がまとめた「要支援の介護給付はずし」や「一定の所得以上の利用者の利用料の値上げ」などの介護制度案について意見交換しました。

### 現場のヘルパー、ケアマネが利用者の影響を訴える！孤立死増なども危惧

北海道の要支援認定者は8万人を越え、実際5万人が、通所介護や訪問介護、福祉用具貸与など、多くの制度を利用しています。(高齢者の34.1%が「課税者」です)

**ヘルパー**「今日も掃除してきました。独居が多く、訪問介護が利用できなくなると大変になります」「要介護の夫を要支援の妻が介護しているが、介護疲れで台所に立てない人もいます」「がんの人や認知症の方もいます」「自分のできないことしか頼んでいない」「サービスを買うとなると、お金を持っていない人はどうなるか心配です」

**ケアマネ**「家族が支援できず、要支援の事業を利用して、家でなんとか暮らしています」「週1回程度の訪問の方もいますが、ヘルパーを楽しみに待っている人もいます。社会とのつながりなくなります。孤立死も増える可能性があります」「デイケアを利用し体力を維持しています。一人では通えません」「高齢者は精一杯頑張っています。頑張っている人が報われる制度にしてほしいです」  
「福祉用具の利用者からも『この用具はどうなの』と質問が寄せられ、実際、利用者からも不安の声も出されています。」

北海道 介護認定者	2013年4月末
要支援1+2	82,164
要介護1~5	192,935
上記合計	275,099
第1号被保険者数	1,433,485

北海道 介護予防利用者	2013年5月分
総数	5万0900人
通所介護	2万2400
訪問介護	2万2100
福祉用具貸与	1万0800
通所リハ	6100
訪問看護	1900
訪問リハ	500
その他、短期入所、地域密着型など	

### 町村は無理 介護事業所の閉鎖、介護労働者の失業も

労働組合の代表は、町村との懇談の中で、「町村にまかれられても財源がなくできない」「ボランティアもない」などの状況が出されていることを発言。介護事業所の担当者からは「要支援の事業の割合は少なくなく、事業収入が減り、事業の継続もできず、介護労働者の雇用も守れなくなる可能性もある」と訴えました。

道の担当者は、「報告書の内容が良いと思っている担当者はいない」「今後の議論を見守り、必要な要望をしていきたい。地域の受け皿ができなければできない」と答えました。また、一定以上の所得の利用者数(北海道)については、後日報告してもらうことになり、今後も懇談していくことになりました。

北海道 保険料区分	2011年度
第1号被保険者(65歳↑)	( )全体の割合
総数	1,385,614人
5段階(基準所得200万円未満)	328,358 (23.7%)
6段階(基準所得200万円以上)	144,069 (10.4%)
上記の計	472,427 (34.1%)

介護に笑顔に！道連絡会では、要支援の保険はずしをやめさせるため、「要支援者が介護保険から外された場合に予想される問題点」についての事例を集めています。今後、まとめて公表する予定です。

くらしのSOS「なんでも電話無料相談」 8月21日(水)10時~18時  
0120-709-015 (フリーダイヤル)

暮らしが大変です。生活保護費も引き下げられました。弁護士、司法書士をはじめ生活、医療、労働、債務などの専門家が無料で相談に応じます。ひとりで悩まず、お気軽にご相談下さい。予約不要です。